

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並会館の維持管理			20年度予算コード	2	整理番号	79	枝番号	
担当部課名	区民生活部管理課		コード	050101	昨年度 整理番号	84				
係名	庶務係		連絡先 電話番号	3754						
上位施策名		No	67	地域活動の推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	42 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区在住在勤在学者、区内事業者及び団体、その他利用を希望する者		(1) 杉並区立杉並会館条例・同施行規則 (2) 杉並区行政財産使用料条例・同施行規則 (3) 杉並区立杉並会館処務規程						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	会館施設(宴会室、集会室)を地域住民等の利用に供するため、会館施設の維持管理を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 適切な維持管理・運営により、地域活動の場を提供する。						
	活動指標名(式)	(1) 利用回数(宴会室3室、集会室3室) (2) 利用人数(宴会室3室、集会室3室)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 稼働率(利用回数 ÷ 利用可能枠) (2) 対区民利用率(利用人数 ÷ 区民人口)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	回	2,592	2,600	2,369	2,600	2,900	81.7	/	
	活動指標(2)	人	49,156	50,000	47,681	50,000	52,000	91.7		
	成果指標(1)	%	47	47	45	48	51	88.2		
	成果指標(2)	%	9	10	9	12	15	60.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	74,688	60,415	59,551	59,701	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	56,615	44,316	44,100	44,101				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.83	0.80	0.80	0.80	平成10年結婚式場機能廃止 平成15年第5展示室をアニメ資料室に転用 平成16年度展示室4室、多目的室、宴会室1室 廃止 平成17年3月アニメミュージアム開設 平成18年度までの予算は、委託料、光熱水費について、アニメミュージアム分を含んでいたが、平成19年度予算から産業経済課のアニメミュージアム運営費と按分して計上している。			
	人件費	千円	7,520	7,312	7,312	7,312				
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,520	7,312	7,312	7,312				
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	82,208	67,727	66,863	67,013				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	31,716	26,049	28,224	25,774				
	財源	受益者負担分	千円	9,590	9,761	9,504				
国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	9,590	9,761	9,504	9,694				
差引: 一般財源 -		千円	72,618	57,966	57,359	57,319				
受益者負担比率 ÷	%	11.7	14.4	14.2	14.5					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	建物総合管理委託(委託等)				30,039					
	施設維持管理(光熱水費等)				15,360					
	受付案内業務委託(委託等)				13,457					
	その他 (機械警備委託、電気設備保守委託等)				695					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 79 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	91.1	活動指標(2)の 19年度達成率%	95.4	19年度予算 執行率%	98.6
		計画どおりの活動量であったため、計画どおりの予算執行が行われた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年度に行った耐震診断の結果、建物形状から一部柱の補強が必要とされるものの、震度6強の地震にも耐えられるものとして、引き続き使用することが可能であるとの結果が示された。しかしながら、19年度に漏水が発生するなど施設の劣化が進んでおり、今後の施設のあり方について現在検討を進めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和42年開館後40年が経過。平成10年に従前の結婚式場機能を廃止し展示室、多目的室を設置。平成15年4月に展示室の一部をアニメ資料室に転用。平成16年4月に展示室、多目的室、宴会室羽衣を廃止。平成17年3月に、展示室をアニメーションミュージアムに転用。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	車椅子利用者への案内表示、入口階段へのスロープまた手すりの設置など、施設設備に対するものがあつた。					
	今後の予測	建設後40年を経過した当該施設は、老朽化に伴い、建物本体のみならず電気、給排水、空調和、昇降機等の設備について大規模な改修が必要な状況となっている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:現在杉並区の公共施設の中では、宴会室機能をもった施設は他にはなく、また、集会室の需要も多いことから、区民の地域活動の拠点の一つとして、地域のコミュニティ形成に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:今後、継続して当該施設を使用するためには耐震補強や経年劣化による設備の改修が必要であり、その分の経費が増大する見込みである。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:施設使用料や地域団体登録使用料制度の減額措置の見直しにより、受益者負担を見直す余地はある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容:施設維持管理の一括委託などを既に実施し経費削減に努めている。老朽化による設備改修費の増大が見込まれるが、古い設備を更新することによるコストダウン、受託業者への委託費削減などの方法を検討できる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 建物等総合管理業務及び窓口受付業務委託、機械警備委託、電気工作物保安業務委託を実施している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並会館の老朽化や耐震診断の結果等を踏まえ、継続して「杉並会館のあり方検討」を行う。建物自体の取扱い(改築、改修、廃止)を含め、現行事業を存続するか、転用するか、廃止するか等、杉並会館の今後のあり方について本年度中に区として結論を出す方向を検討したい。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 検討結果が「廃止」若しくは「転用」との結論となった場合、利用者の理解を得る必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 「杉並会館のあり方検討」の結果次第では、当該事業にかかる予算見積の方向性変わる。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		町会・自治会活動支援及び協力委託 <small>20年度予算コード</small>			7		整理番号		91		枝番号					
担当部課名		区民生活部地域課		コード		050501		昨年度 整理番号		97						
係名		地域係		連絡先 電話番号		3763										
上位施策名		No		67		地域活動の推進										
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		63年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 4 政策番号 5 施策番号 1 事業コード 1		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等											
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並区内の町会・自治会(161町会)、 杉並区町会連合会、杉並区地区町会連合会(17地区)		(1) 杉並区町会・自治会専用掲示板設置等補助金交付要綱 (2) 杉並区町会・自治会館建設等補助金交付要綱 (3) 町会・自治会等の認可に関する事務処理要綱											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(1)町会・自治会館等の建設等助成(2)杉並区町会連合会連絡調整(3)町会加入促進(4)地域活性化事業助成(5)区政協力委託		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) (1) 掲示板や自治会館が設置されることにより地域における活動の拠点と意見交換・発信の手段が得られる。 (2) 町会・自治会を支援し、良好な地域社会を実現する。(3) 町会を理解し加入する区民が増え、町会・自治会活動が活性化される。(4) 町会・自治会活動を通じて地域の発展と住みよい環境づくりを推進できる。(5) 地域に定着した業務を町会・自治会に委託することにより、より地域活動を活性化させ、良好な地域社会の形成を目指す。											
	活動指標名(式)		(1) 町会・自治会掲示板設置等助成数 (2) 委託契約を結んだ町会・自治会数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 町会・自治会掲示板助成数の増加割合(前年度比) (2) 町会・自治会加入世帯 / 区内世帯数(4月1日現在)(代)											
指標	区分		単位		18年度		19年度		20年度		目標値		目標値に対する19年度の達成率%			
					実績		計画		計画		22年度					
	活動指標(1)		基		79		50		83		50		50		166.0	
	活動指標(2)		町会		160		161		160		161		166		96.4	
成果指標(1)		%		94		60		105		60		60		175.0		
成果指標(2)		%		53		57		53		57		60		88.3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円		42,806		46,140		45,040		54,599		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) (平成20年度予定) ・杉並区町会連合会創立50周年記念事業補助金交付 ・地域活性化事業助成金交付 ・財団法人自治総合センターからのコミュニティ助成金申請			
	(内) 投資的経費等		千円													
	(内) 委託費		千円		40,134		41,183		40,431		41,614					
	職員数(常勤 非常勤)		人		8.02 0.00		8.02 0.00		8.02 0.00		8.51 0.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円		72,661		73,303		73,303		77,781				
		非常勤職員分		千円		0		0		0		0				
	総事業費 ++		千円		115,467		119,443		118,343		132,380					
	単位あたりコスト(-)÷		円		1,461,608		2,388,860		1,425,819		2,647,600					
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円												
特定財源計 +		千円		0		0		0		0						
差引: 一般財源 -		千円		115,467		119,443		118,343		132,380						
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0						
19年度の主な取組み		内容		規模		単位		事業費(千円)								
				町会・自治会専用掲示板設置等助成		1		式		3,676						
				杉並区町会連合会連絡調整		17		地区		242						
				町会加入促進		1		式		691						
				区政協力委託(委託等)		160		町会		40,431						
その他 ()								0								

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 91 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	166.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	99.4	19年度予算 執行率%	97.6

前年度の改革案の取り組み状況
(20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)

これまで杉並区町会・自治会専用掲示板設置等補助を随時申請としていたが、一斉申請とすることで周知徹底が図れることから平成15年度に要綱を見直した。これに基づき、掲示板の助成を行い、各地区町会連合会に新たな補助金の制度の定着に努めた。また、今年度は新規事業「杉並区まちの絆事業助成」(地域活性化事業補助金の交付)を開始し、町会・自治会の活力を高めることを通じて、地域の活性化を図ることとした。

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	町会加入率は減少または横ばい傾向にある。また、町会役員の高齢化や後継者難が顕著化してきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ポスター掲示やチラシの回覧などの依頼件数が増加傾向にあり、委託金の増額等を考えてほしい。また、委託事項について、負担感を訴える声もある。
	今後の予測	会館建設補助：新規は数年に1回程度で、既存の会館に対する修繕補助の需要が見込まれる。掲示板：助成基数が年々増加しており、今後も需要は増加していく。 マンション世帯の増加や多様な価値観の中、町会加入率の急激な上昇は難しい。しかし、災害時や防犯に関するボランティア活動・行政との連携など、町会が地域で果たす役割は一層重要となる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：会館は、地域の会合だけでなく葬祭などにも利用され、地域福祉の向上に貢献している。掲示板は、町会未加入者も恩恵を受けることができるため、地域での情報交換、伝達に寄与している。また、町会活動の活性化を支援することで、区民が身近な地域での交流を深めることに寄与できる。区政協力委託については、低コストで地域全体の生活環境維持、区が行う各種事業への協力、区政情報の周知などが図られる。また、委託業務は各町会活動の活性化の一助となる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容：掲示板を活用し、町会の活動や情報を提供し加入を促す。また、地域活動係が、よりきめ細かい町会・自治会の活動支援を行うことで地域の活性化を図る。 理由または具体的内容：定年等により地域に戻ってくる団塊の世代等をはじめ多様な世代に町会・自治会活動の参画を求め、より地域活動を活性化させていくことを通し良好な地域社会の形成を目指す。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：掲示板設置にあたって新設の場合、工事費用が税込みで7万円以上かかっており、現状でも受益者負担は大きい。また、区政協力委託については受益者負担を伴う性質の事業ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：町会に対する協力依頼は年々増えていること、区政協力委託契約は平成12年度から始まった委託契約で、委託業務については各町会に浸透したこと、区からの協力依頼が増加傾向にあることから、委託内容の見直しや事業費の削減は慎重に考えるべきである。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方： <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 良好な地域社会を実現することは区の使命であるが身近な業務を、町会・自治会でもすることで十分な成果を発揮している。掲示板を活用し、町会の活動や情報を提供し加入を促すとともに、区からのお知らせを住民に周知するために大きな役割を果たしている。
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 役員の高齢化や後継者難、加入率の低迷といった課題が一樣に指摘されている。安全安心の住みよいまちづくりを築いていく上で町会・自治会の活性化は不可欠であり、地域の活性化を進めるため助成金を活用していく。 町会掲示板の助成について：設置場所について、必要に応じて地域課が許認可事務等の仲立ちを努めることなどを通じより多くの町会が身近な地域の情報源としてこれまで以上にこの制度を活用できるようにしていくとともに、ITを活用した情報発信の促進を図る。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域住民活動推進			20年度予算コード	008	整理番号	92	枝番号		
担当部課名	区民生活部地域課		コード	050501	昨年度 整理番号	98、99、101、102					
係名	地域係		連絡先 電話番号	3767							
上位施策名		No	67		地域活動の推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区災害復旧対策実施要綱 (2) 杉並区掲示板に掲示する掲示物取扱要領 (3) 杉並区地域集会施設等運営協議会事業に対する補助金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	(1) 災害発生時、被害状況を調査し被災台帳を作成、申請者に被災証明書を交付する (2) 区掲示板及び区民専用掲示板の維持管理、ポスター掲出 (3) 地域集会施設等運営協議会への補助金交付、地域区民センター図書室の運営委託		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) (1) 発災後、速やかな被害状況を調査し被災台帳を作成することにより、その後の各種復興支援施策につなげ、被災者の救済を実現する (2) 区からのお知らせを区民に広く周知する、区民相互の情報交換の場を提供する (3) 運営協議会活動を支援することで、地域住民のふれあいと交流を進めるとともに、地域住民が自ら地域問題の解決に取り組む自治型コミュニティの形成を目指す							
活動指標名(式)	(1) 区掲示板設置基数 (2) 運営協議会集団事業及び学級講座参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 区掲示板へのポスター掲出枚数 (2) (代) 事業1回あたりの参加者数 = 事業参加者総数 ÷ 事業実施回数								
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	基	432	530	432	530	530	81.5	/		
	活動指標(2)	人	45,083	46,000	45,585	46,000	46,000	99.1			
	成果指標(1)	枚	35,923	43,370	38,725	43,370	43,370	89.3			
成果指標(2)	人	80	82	82	82	82	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	170,289	167,186	157,596	169,142	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0					
	(内) 委託費	千円	39,420	33,662	30,771	34,083					
	職員数(常勤 非常勤)	人	5.10	5.10	5.10	5.40	全ての区掲示板及び区民専用掲示板をステンレス製に建替えるため、平成17年10月にNPO法人と建替え事業に関するPFI協定を締結した。この協定により、既存掲示板の撤去及び新設、維持管理に係る費用はNPO法人側の負担とし、この内、維持管理経費については区は1基あたり年間三千円を上限として一部負担することとした。				
	人件費	千円	46,206	46,614	46,614	49,356					
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	216,495	213,800	204,210	218,498					
	単位あたりコスト(-) ÷	円	501,146	403,396	472,708	412,260					
	財源	受益者負担分	千円	1,619	1,700	1,935					2,000
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0					0
特定財源計 +		千円	1,619	1,700	1,935	2,000					
差引: 一般財源 -		千円	214,876	212,100	202,275	216,498					
受益者負担比率 ÷	%	0.7	0.8	0.9	0.9						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	地域活動事務費		1	式	513						
	被災者情報管理システム保守費、サーバ賃借費		1	式	1,476						
	運営協議会事業補助金		1	式	121,534						
	地域区民センター図書室運営委託費		1	式	27,684						
その他 ()				6,389							

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 92 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	81.5	活動指標(2)の 19年度達成率%	99.1	19年度予算 執行率%	94.3
		掲示板建替え事業は、NPO法人側の体制に課題があることから当初計画より大幅に遅れており、建替え済みの掲示板の維持管理を十分に行っておらず、区の方担金が未執行となっている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		(1) 平成19年4月から被災者情報管理システムが本格稼働し、その後、操作実務などを通して明らかになった課題を元にシステム改修案を作成し、20年度予算に反映させた。また、全庁的な水害被害調査態勢を構築し、マニュアルを整備するとともに説明会を実施し、災害に対する即応力を高めた。 (2) 平成20年3月から地域集会施設等運営協議会のあり方検討委員会を開催し、今後目指すべき役割について議論を進めている。また、趣味・教養をテーマとした教室・講座のあり方にも、運営協議会の自主性を尊重しつつ地域課題の解決を指向したものとすよう検討中である。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	(1) 平成17年9月4日の集中豪雨被害の教訓から、迅速な被害調査と情報管理が成せる態勢整備の重要性が認識された。その後も水害が発生しており、ヒートアイランド化の進行と相まって都市型水害発災の危険性は増している。(2) 運営協議会の開設以来、地域集会施設の運営管理業務全般を委託していたが、平成15年度に全ての地域集会施設に係る施設管理・受付業務を民間事業者へ委託した。このことにより、運営協議会の担う役割が地域コミュニティ形成に係る事業の企画・実施が主体となり、事業目的が明確化された。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	(1) 区民専用掲示板について、掲示物が多く掲出スペースが不足しているため、基数を増やしてほしいとの要望がある。(2) 杉並区への移住希望者から、過去の水害発生状況についての照会が多数寄せられており、被災状況などの情報提供に対する期待は非常に大きい。					
	今後の予測	(1) 都市部のヒートアイランド化が一層進行し、集中豪雨発生の危険度が増す。一方、東京都が行う河川や下水道の災害対策工事が進行し、時間あたり最大50ミリまでの雨に対する水害予防体制が整備されるが、局所的な集中豪雨の発生が予想される。(2) 運営協議会を始めとした様々な地域活動団体が地域の諸課題解決を目指すうえで、構成員の高齢化等により不足するマンパワーを団体相互に補完・連携していく必要性が増す。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: (1) 災害に対する即応態勢の整備は、地域住民の区に対する信頼性向上に貢献している。(2) 運営協議会が開催する講座・教室は、地域コミュニティ形成という本来の役割と必ずしも合致しない内容も含まれており、民間カルチャーセンターの代替になってしまう傾向も見受けられるが、区民ニーズ・集客力ともに高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: (1) 水害被害調査態勢が整備されており、今後は実地訓練やシステム操作講習会を行うことにより、質的向上を図る(2) 運営協議会事業を単なる趣味・教養分野だけでなく、地域課題への対応などを含め事業の目的を明確にすることで、ふれあいと交流から一歩踏み込んだ地域の課題への対応力を増すことができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 運営協議会事業参加者にとって、受益度の高い講座・教室にとっては、材料費や施設使用料等、施設の維持管理や事業の継続性を確保するために相応の金額を参加費とする等の工夫が考えられる。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 運営協議会事業参加費の充当により、事業費を節減できる。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 運営協議会は、地元の各種団体からの推薦又は公募によるボランティアの委員により構成され、住民相互の交流促進等を目的に様々な活動を行う自主的団体であり、協働効果は高い。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域集会施設の受付業務を運営協議会から民間事業者に変更して数年が経ち、貸室業務が切り離されたことで、住民の地域力を向上させる事業展開を徐々に進めることができるようになってきている。更に今後は、様々な地域活動団体が構成員の固定化・高齢化等により不足するマンパワーを相互に補完し、地域の諸課題を解決するためのネットワーク形成を目指しつつ、今後も一般公募と各種団体から推薦された委員で構成される運営協議会がその中心的役割を担うべきである。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 運営協議会の自主性を阻害しないように配慮しながら進めていく必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 現状の事業費で、地域の諸課題解決能力を養うような事業の展開など、運営協議会本来の役割が発揮できるように努める。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	公共施設予約システム維持管理	20年度予算コード	4005	整理番号	96	枝番号
-----------	----------------	-----------	------	------	----	-----

担当部課名	区民生活部地域課	コード	050504	昨年度整理番号	113
係名	地域施設係	連絡先電話番号	765		

上位施策名	No	67	地域活動の推進
-------	----	----	---------

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 15年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 施設の利用者及び利用団体	(1) 杉並区公共施設予約システムの利用に関する要綱 (2) (3)
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 公共施設予約システム「さざんかねっと」による施設の利用申込制度を適正に管理し、利用者がシステムを公正に利用できるよう改修する。	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 施設利用に際して、利用者が簡単、便利に施設の申込ができるようにする。また、抽選申込等の機能により、公平に施設利用ができるようにする。
	活動指標名(式) (1) システムアクセス数 (2)	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)

区分	単位	18年度		19年度		20年度計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%					
		実績	計画	実績	計画								
指標	活動指標(1)	回	691,834	689,099	604,418	689,355	698,602	86.5					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)												
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	64,164	65,094	58,932	56,890	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等	千円		0	0	0							
	(内) 委託費	千円	51,659	22,502	27,853	31,732							
	職員数(常勤 非常勤)	人	5.02 0.00	5.00 1.00	5.00 1.00	5.00 2.00	アクセス数の考え方 アクセス数 ÷ 予約可能数 = 稼動指標 691834 ÷ 583823 = 1.18506415 稼動指標は18年度実績ベースとする 1.185 平成22年稼動指標はシステム機能強化によるアクセス増を見込み0.84 × 1.05 1.2						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	45,481	45,700	45,700				45,700			
		非常勤職員分	千円	0	2,770	2,770				5,540			
	総事業費 + +	千円	109,645	113,564	107,402	108,130							
	単位あたりコスト(-) ÷	円	158	165	178	157							
	財源	受益者負担分	千円	0							予約可能件数 稼動指標 19年度 581,518 689099 20年度 581,734(予定) 689355 21年度 582,168(予定) 698602 18年度のみアクセス数が多いため稼動指標は高めの設定となっている。 20年度は下半期芸術会館会館を想定(和田堀会館(年間500件) × 1.3 × 4/12ヶ月) 21年度の高井戸地域区民センター改築準備は流動的なため考慮しない。 予約可能件数はさざんかねっと 集会施設で扱う全施設とする。		
		国・都等からの支出金	千円	0									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	109,645	113,564	107,402	108,130							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								

19年度の主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
	公共施設予約システム維持管理経費			58,932
	その他			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 96 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	87.7	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	90.5
		システム改修については予算の範囲内で最大の効果が出るよう、利用者の要望等を踏まえ、修正内容を検討し実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		利用者画面について利便性向上を目的として改修を実施した。 サーバ等の機器再リースにより19年度から賃借料が削減された。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	システム稼働から5年余りが経過し、システムとしては安定期に入っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・利用制限対象期間の延長(利用日3日前にキャンセルされても他の利用者は都合がつかない。キャンセル可能期間が長すぎる) ・空き枠申し込み時のシステム応答の遅延					
	今後の予測	システム導入により、利用者の年齢層が広がり、区外利用者数についても増大したが、今後もこの傾向は進むと思われる。新規の利用者が増えたこともあり、利用に不案内な利用者に対する接遇、重複登録対策、営利目的利用防止等に対し、対策を検討し対応していく必要となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:施設申込みの利便性について時間的・空間的な制約を減らし、多様な利用者層の施設利用機会を担保することで、地域の文化・コミュニティ活動等が活発になる環境を提供できるため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:公平な利用の機会を保障し、利用者の満足度を高めるために、不正利用などを防止する枠組みを作る。そのために制度の検討、見直しを行っていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	受益者である利用者が直接負担を想定する内容が本事業経費では、存在しないため					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:施設利用料金の適正化について、検討を行う。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)集会施設及びスポーツ施設の公共施設予約システム運用(保守管理)を民間業者に業務委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 1 21年度末でサーバー等の機器を交換することに伴い、次期システムの設計を行う必要がある。 2 利用者の利便性を踏まえたシステム改修を平成22年4月を目途に実施し、利用者負担について見直し、併せてさざんか一どの半額免除などシステム設計に反映していく。 3 不正利用を防止するための措置(個別指導等)を定期的に行っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 1 施設利用料金の適正化は利用者の理解を得るための努力が必要。 2 システムの入替えは、現行機能の確保、利便性向上を踏まえた検討を行っていく	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成22年のシステム改正にともなうシステム機能の検討、導入システムのテスト及び、制度面の検討結果のシステム反映を実施するため人的、物的な資産、両面の確保が必要となる。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域集会施設等維持管理			20年度予算コード	004	整理番号	97	枝番号	
担当部課名	区民生活部地域課		コード	050504	昨年度 整理番号	110・111				
係名	地域施設係		連絡先 電話番号	3765						
上位施策名		No	67	地域活動の推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	54年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		施設利用者及び利用団体		(1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2 (2) 杉並区立地域区民センター及び集会所条例、同施行規則 (3) 杉並区立区民会館条例、同施行規則				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	施設の集会室、会議室等を区民及び区民団体等に貸し出す		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 地域住民の活動の拠点である区民センターや集会所、区民会館が適切に維持管理、運営されることによって、活発な施設利用が行われるようにする。						
	活動指標名(式)	(1) 有料利用者数 (2) 施設利用回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 施設利用率(利用回数 ÷ 最大申し込み可能回数) (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	人	1,160,876	1,101,950	1,150,032		1,101,860	104.4		
	活動指標(2)	回	161,215		160,506					
	成果指標(1)	%	67		67					
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	769,519	964,720	791,398	943,374	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費	千円	509,683	676,255	518,427	621,309				
	職員数(常勤 非常勤)	人	9.17 0.00	9.17 0.00	9.17 0.00	7.01 0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	83,080	83,814	83,814	64,071			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	852,599	1,048,534	875,212	1,007,445				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	734	952	761					
	財源	受益者負担分	千円	131,085	123,319	132,269	128,243			
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0			
特定財源計 +		千円	131,085	123,319	132,269	128,243				
差引: 一般財源 -		千円	721,514	925,215	742,943	879,202				
受益者負担比率 ÷	%	15.4	11.8	15.1	12.7					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	井草地域区民センター外2施設の建物総合管理業務委託		1	式	60,218					
	井草地域区民センター外10施設の遠方管理等機械設備保守点検		1	式	60,214					
	阿佐谷地域区民センター外3施設の建物総合管理及び清掃業務		1	式	55,055					
	永福和泉地域区民センター外施設の建物総合管理業務委託		1	式	53,193					
	その他 ()				562,718					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 97 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	104.4	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	82.0
		当事業の中核となる建物総合管理業務等委託契約につき、設計価格からの落差金額が大きくなもとなったことが執行残の主要要因である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・施設利用料金の適正化について引き続き検討中。 ・経理課の入札制度が改正され複数年契約が可能となったことから、19年度より、3センター(荻窪・阿佐ヶ谷・高円寺)の建物総合管理業務等委託契約について複数年契約を導入した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	1 複雑な要望に対する機敏な対応やきめこまやかなサービスを実現し、効率的な運用をおこなっていくため地域区民センターの管理運用を運営協議会から民間事業者に切り替えた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	1 受託業者職員の接客の向上。 2 施設整備・備品(運動機器、音響設備等)の買い替え。 3 行政使用、運営協議会使用が一般使用を圧迫している。					
	今後の予測	1 地域コミュニティの拠点としてより広範な層の活動参加が行いやすい、施設運営、施設整備について配慮していくことが求められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 多様で自主的な地域住民活動の場として定着し、地域活動の推進を施設的な側面から支えている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 複数年契約を導入することにより、継続的な視点にたった施設の総合管理を実現しつつも定期的な業者選定を行うことで、適正な業者を選定し、利用者の満足度を高めていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 施設利用料金の適正化について検討し見直すことで可能。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: ISOの指針に基づき、光熱水費等省エネの一層の推進や計画的な修繕等により増大する施設コストを低減させていく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 1 ほぼすべての施設について管理を委託しているが、区民会館は施設規模が小さく、再任用及び非常勤職員が配置されている。区民会館の委託等については今後の課題とする。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・平成19年4月から一部施設において導入した複数年契約を他の施設にも順次導入する。 ・施設の利用実態や利用ニーズを踏まえた施設の適正利用について検討する。 ・適正な受益者負担という視点から、施設利用の適正化について引き続き検討する。 ・高井戸地域区民センターの大規模改修を始め、各施設について順次、大規模修繕、計画修繕を進めていく必要がある。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 使用料の見直し等制度の見直しについては、利用者をはじめ区民の理解を得ていくことが必要となる。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 1 高井戸地域区民センター改修を踏まえた改修計画の具体化、代替施設・設備の準備等を行うため予算増が想定される。 2 修繕や備品等の買い替えについては、計画的に実施することとしたい、施設や設備についても老朽化が進んでいるため修繕時のための予算増が想定される。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区民事務所維持管理			20年度予算コード	005	整理番号	98	枝番号	
担当部課名	区民生活部地域課		コード	050504		昨年度 整理番号	92,100			
係名	地域施設係		連絡先 電話番号	3765						
上位施策名		No	67		地域活動の推進					
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民事務所及び区民事務所会議室の利用者並びに利用団体				根拠法令等 (1) 杉並区行政財産使用料条例、同施行規則 (2) 杉並区民事務所会議室の目的外使用及び使用料減免取扱要綱 (3) 杉並区地域団体の登録等に関する要綱			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区民事務所(分室含む)及び区民事務所会議室の施設 設備保守・維持管理・運営、目的外使用の貸し出し業 務。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設利用に際して、利用者が快適な状態で施設が使用できるよう 維持管理し、良好な状態に保ち、利用率の向上につながる事を目 的とする。			
	活動指標名(式)		(1) 区民事務所及び会議室の建物面積		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 会議室の利用率(利用回数 ÷ 利用可能回数) (2)			
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対	
			実績	計画	実績	計画	22年度	する19年度 の達成率%		
指標	活動指標(1)		m ²	7,913	7,913	7,913	7,913	7,913	100.0	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%	54	55	58		55	105.5	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	50,354	69,706	53,506	68,708	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円							
	(内) 委託費		千円	26,846	35,082	28,287	32,061			
	職員数(常勤 非常勤)		人	4.47	4.47	4.47	4.18			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	40,498	40,856	40,856	38,205		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	90,852	110,562	94,362	106,913			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	11,481	13,972	11,925	13,511			
	財源	受益者負担分		千円	17,241	16,212	20,741	17,323		
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	17,241	16,212	20,741	17,323				
差引: 一般財源 -		千円	73,611	94,350	73,621	89,590				
受益者負担比率 ÷		%	19.0	14.7	22.0	16.2				
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)		
		区民事務所維持管理(区民事務所4所、分室2所、会議室18所)				24	所	45,336		
		区民事務所運営管理(夜間パトロール(委託))				12	月	5,460		
		点検及び鍵回収				1,356	件	1,372		
		その他 ()						1,338		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 98 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	76.8

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成17年9月から区民事務所会議室の夜間巡回パトロールを実施した。平成18年度までは3日に1回の巡回でしたが、平成19年度には方南和泉会議室を除く17会議室を2グループに分けて毎日巡回を実施し、無断延長使用者への退出勧告、施錠確認、その他施設の点検がなされ安全面で効果をあげている					
---	--	--	--	--	--	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成13年度の組織改正により、17出張所が7区民事務所、2分室、1サービスコーナーに統廃合された。廃止した旧出張所は目的外利用の会議室として利用することになった。15年度末までに5施設を多目的集会機能を持つ会議室へと改修を行った。平成18年4月から高円寺会議室を区民集会所として開所。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	施設に職員が常駐していないため、近隣住民からの利用マナーについての苦情や設備のトラブル発生時の即時対応ができないという指摘がある。また、土日祝日利用では使用料の支払いや鍵の受領手続きを事前に行う必要があり、不便をかけている。				
	今後の予測	施設の老朽化により大規模修繕及び設備修繕の必要性が増す。利用マナーについて更に悪くならないように使用にあたっての注意喚起の必要がある。				

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 身近な地域集会施設としてコミュニティ活動の場として活用されている。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 施設維持のため、施設の修繕費用が必要。 運用面では、現在施設は無人状態であり、このことによる不便さやセキュリティの問題については、有人管理としたり、現在行っている警備を充実させる等の対策が必要となり、経費増が必要			
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 施設を適正に管理していくため、現在、無人となっている会議室について管理方法を検討する必要がある。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 施設利用料金の適正化を行うことで使用料の増加が期待できる。			
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在無人管理で、警備も夜間1箇所10分程度と最低限の管理で運用されているため				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続	<input type="radio"/> 推進	<input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 使用料の徴収、鍵の貸し出し、建物の保守点検、鍵の回収、夜間パトロールを委託して実施している。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 老朽化した施設を円滑に管理していくために計画的な施設の部分改修を行う。 会議室利用者の満足度が上がり、近隣住民からも理解の得られる施設運用が可能な施設環境整備、運用体制を構築する。 現在、区民事務所会議室は、集会施設としては、目的外利用施設として提供しているためコミュニティ活動の場としての施設としては十分な管理が行えていない。今後は、施設の利用目的を明確にし、目的に沿った管理運営を検討する必要がある。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 今後、老朽化していく施設の改修や設備の充実を図るには費用負担の増加が伴う。このため施設利用料金の適正化等の検討を行い、利用者負担の見直し等を実施し、発生する費用負担に対する理解を区民及び利用者に向けて行く必要がある。		

21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 施設の老朽化に伴い、適正な維持管理のために緊急修繕及び改修経費の増加が見込まれる。 近隣住民の苦情・要望への対応や施設の適正管理、夜間パトロール等についてさらに検討、充実を図る必要がある。						